

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

申請者	静岡県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	664,312千円（142,050千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	自動運転等のCASEへの対応が迫られる、自動車関連企業や交通事業者の課題を解決するため、それぞれが技術やサービス提供できる実証フィールドを構成し、実装化が可能な新たなモビリティサービスを構築することにより、過疎地、都市部、郊外部、それぞれが抱える課題を解決するとともに先端技術の導入支援により、民間企業の技術開発の促進を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 実証・実装フィールドの提供 (1) 自動運転実証実験運営経費（委託料等）56,000千円 2 技術提供・開発支援 (1) (公財) 静岡県産業振興財団コーディネータによる伴走支援（委託料等）17,050千円 (2) 次世代自動車センター支援（負担金）64,000千円 3 情報発信・機会創出支援 (1) 展示会出展等（負担金、装飾費等）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①自動運転等のCASE技術を導入したモビリティサービスの実装地域（+4地域） ②自動運転移動サービス導入検討地域数（+8地域） ③EV化・自動運転化に対応した製品化件数（+18件）		関連URL 調整中

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	77,500千円 (9,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・観光客の滞在時間を延ばし、観光消費の拡大や宿泊者数の増加につなげるため、日本夜景遺産に認定された日本平山頂からの夜景を核に、夜間の観光振興に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○日本平山頂における夜間イベントの充実 ・イベント内容の充実 (委託料) 2,000千円 ・イベント用シャトルバスの運行 (委託料) 1,300千円 ○ナイトツーリズムHPを活用した情報発信 (委託料) 2,000千円 ○夜景視点場での実施PR (賃借料) 500千円 ○夜景観賞ツアーの実証実施 (委託料) 3,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内延べ宿泊者数 (+ 396,000人泊) ②日本平夜市の平均来場者数 (+ 1,250人) ③市内の日本夜景遺産認定地の数 (+ 3箇所) ④「東海道歴史街道おんぱく (観光商品開発トライアルイベント)」における夜間帯商品数 (+ 21本)		関連URL 調整中

事業概要【「フェンシングのまち沼津」推進を契機とした観光・地域産業活性化によるスポーツツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	32,823千円 (4,355千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・フェンシングの大会、合宿等を通じて交流人口拡大と域内消費向上を図る ・シンボリックなトップ選手を育成し、フェンシングの拠点都市としてのブランド化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大規模大会・合宿の誘致及び観光企画 ・全国大会ブランド力向上のためのPR（広告費、消耗品費）1,000千円 ○フェンシングのまち沼津PR ・フェンシングガイドブック、フェンシングのまち沼津推進協議会PRパンフレット（印刷製本費）336千円 ・大人向けフェンシング体験会開催（委託料）270千円 ・スポーツ指導者確保に向けた講演会（報償費、使用料）200千円 ○シンボルフェンサー育成 ・練習会開催経費（報償費）1,200千円 ○スマートフェンシング普及 ・スマートフェンシング機材購入経費（備品購入費）1,349千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①フェンシング大会及び合宿の開催に伴う観光交流客数 (+1,420人) ②沼津市で開催されるフェンシング大会及び合宿実施回数 (+10回) ③フェンシング大会及び合宿参加者への購買調査結果 (+7,100千円) ④市フェンシングFacebookページの投稿記事の年間閲覧人数 (+24千人)	関連URL	https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/office/fuzoku/kaigiroku/k004kaigiroku.htm

事業概要【富士のほうじ茶ブランド化推進事業】

推進当初

申請者	静岡県富士市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	38,800千円 (4,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	茶農家の収入の安定化と更なる生産量の増加のほか、耕作放棄地増加の抑制による景観保全、「美味しいほうじ茶のまち」、「富士山と茶畑の景観が美しいまち」として、まちのイメージ向上による観光客の増加や、「ほうじ茶」や「ほうじ茶関連商品」を取り扱う飲食店等の増加等、商業振興につなげるとともに、まちの活性化につなげることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○首都圏や海外での更なる販路拡大を図るため、企業マッチングを行うほか、各種メディア等を通じた情報発信の実施 ・企業マッチング支援 (国内/海外) 1,000千円 ・情報誌や各種メディアでの情報発信 1,000千円 ○ほうじ茶のまち富士市をPRするため、市内の飲食店やホテルと連携したイベントの開催 ・企画・運営 250千円 ・プロモーション 250千円 ○首都圏に対し、ほうじ茶の更なる認知度向上を図るため関連商品の販売拡大やPRをするためのイベントの開催 ・企画・運営 250千円 ・プロモーション 250千円 ・会場費 1,000千円	  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業開始後のほうじ茶の売上高 (+4,400千円) ②支援事業による新商品開発数 (+32商品) ③マッチング企業数 (+25社)	関連URL	調整中

事業概要【人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業】

推進当初

申請者	静岡県富士市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,917千円 (17,893千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	自転車による富士山の風景を楽しみながら移動できる体制の構築、プロサイクリングチームと連携した当市の特色を生かした誘客を進めるとともに、市民に対して自転車活用を推進することで、市外からの来訪者と市民が交流し、地域における様々なイベントや体験活動を通じて、人が集まり、地域で繋がり、地域経済にも寄与するまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 自転車活用による交通利便性の向上に向け、レンタサイクル事業の運営や安全で楽しめる観光ルートの設定などを行う。 ・ レンタサイクル運営費（委託料） 1,907千円 ・ サイクルラック等自転車観光者受入支援（補助金） 1,000千円 ● 滞留型観光事業の創出として、サイクルステーションを拠点としたサイクリストが集まる環境整備や、立ち寄り場所などの情報発信を行う。 ・ サイクルツーリズム推進事業費（委託料） 5,749千円 ・ サイクルステーション運営費用（委託料） 2,237千円 ● サイクルスポーツを通じた認知度の向上に向け、プロレースの開催、サイクルスポーツの体験など、様々なイベントを実施する。 ・ プロカテゴリーレースの開催（負担金） 5,000千円 ・ 観光資源活用サイクルイベントの開催（委託料） 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① レンタサイクルを使って観光施設に訪問した人数（+1,476人） ② 当該年度における経済波及効果（+140,000千円） ③ サイクリスト立ち寄り拠点整備事業所数（+170件） ④ 自転車レース開催月におけるRESAS滞在人口の地域外人口の数（+3,500人）	関連URL	調整中



事業概要【食の魅力を活用したガストロノミー(食・食文化)ツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	372,273千円 (113,491千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域特有の食とともに、その背景にある文化、歴史、自然環境などを味わうガストロノミーツーリズムの推進体制を構築し、本県のガストロノミー (食・食文化) の魅力を活用した持続可能な観光地づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○静岡県のカストロノミーツーリズムを県全体で推進 ・ネットワーク「ガストロノミーツーリズムフォーラム」の体制強化とコーディネーターの配置 (需用費、役務費、委託料: 22,705千円) ・質の高いモデル事例創出に向けた食と食文化に関する講演会等の開催 (委託費: 7,000千円) ○静岡の食文化を継承し、取組を実践する担い手を育成 (委託料4,000千円) ・大学等と連携した講座の開催 ・調理専門学校を対象とした「食の都の授業」 ○県産食材や静岡独自の食文化等の発信、料理人と生産者が連携した、SDGsに貢献する「食」の取組を促進 ・ウェブサイトによる食の情報の発信 (委託料7,000千円) ・料理人と生産者が連携した「レストランフェア」の開催(委託料、その他報償費、需用費4,779千円) ・生産者、飲食店SDGs認証制度の運用・普及 (委託料、その他報償費、その他の旅費、需用費8,307千円) ○静岡独自の食文化発信 ・静岡県の特徴的な食文化の掘り起こし、それを発信する企画の実施 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 4,980千円) ・農芸品や食文化の豊かさをテーマとした常設展の拡充 (報償費、講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料: 21,000千円) ・県立美術館企画展と連動したレストランメニューの開発 (委託費: 4,000千円) ○ガストロノミー・文化・景観をパッケージで味わえる環境づくり ・舞台芸術を活用し、他の文化施設等と連携したガストロノミーツーリズムの実証事業の開催 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 13,000千円) ・県立美術館における本県の豊かな食文化を育む美しい自然をテーマとした企画展の開催 (講師旅費、需用費、食糧費、役務費、委託料、使用料、負担金: 14,720千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内旅行消費額 (+2,250億円) ②コーディネーターの支援による旅行商品造成数 (+12件) ③本事業による各文化施設の来場者数等 (+14,800人) (舞台芸術公園来園者数、県立美術館来館者数、地球環境史ミュージアム観覧者数)	関連URL	調整中

＜食と食文化に関する講演会＞



＜食の都の授業＞



＜舞台芸術を活用した実証事業＞



事業概要【温泉資源や科学的知見等の活用による元気な地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	265,099千円（79,476千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・ヘルスオープンイノベーション静岡の仕組みを構築し、行政施策への反映やビジネス領域での事業化を進めることで、それらのサービスを受けた県民の健康寿命の延伸やヘルスケアサービスの事業化による地域経済の活性化につなげる。 ・温泉資源等の活用による新たなサービスを創出することで、成長が見込めるヘルスケア産業等への産業構造の転換を図り、若者の働く場を創出するとともに、新たなヘルスケアサービスを受けた県民の健康を増進する。 ・地域資源を活用した観光産業の磨き上げにより地域産業を活発化し、地域経済の発展に寄与する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○【科学的知見等の活用による県民の健康寿命延伸の実現】ヘルスオープンイノベーション静岡 ①フューチャーセッション及びタスクフォース運営等（使用料・報償費等） 2,117千円 ・健康課題解決のための委員との対話（会議形式及び随時相談） ②タスクフォースでの研究成果のビジネス領域への事業化、行政施策への反映に向けた実証実験（委託料等） 1,000千円 ・スポーツ医科学に着目した実証実験 1,000千円 ③高血圧対策に関する研修会・講演会の開催（使用料・報償費等） 1,459千円 ○【温泉資源等の活用による新たな産業の創出】ICOIプロジェクト ・サービスの一元化に向けたプラットフォームの開発 18,924千円（委託等） ・伊豆地域の市町と連携した温泉活用事業 22,000千円（補助金） ・推進協議会運営費 976千円（使用料・報償費等） ・温泉活用における人材育成事業 2,000千円（委託） ○【温泉資源等の活用による新たな産業の創出】地域資源を活かした観光促進事業 ・旅行商品造成支援により磨き上げられた静岡ならではの観光資源を活用した誘客事業等 31,000千円（委託・補助金）	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①温泉等の地域資源を活用したヘルスケアに関する新たなビジネスモデルの創出（+15件） ②社会健康医学大学院大学の研究成果の社会実装（タスクフォース）の数（+9件） ③県内旅行消費額（+2,914億円）	関連URL	調整中

事業概要【環境と経済が両立した「地域循環共生圏」形成事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	599,740千円 (149,998千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・森・里・川・海のつながりを再現するモデルの構築と公開により、オープンイノベーションを促進する ・脱炭素に向けた県民のライフスタイル転換への行動変容を多方面から促す ・産学官金が一体となった支援体制を構築し、中小企業のカーボンニュートラルの実現を目指す ・市町による持続可能な取組を支援し、環境と社会経済が調和する「地域循環共生圏」の形成を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇森・里・川・海の関係の科学的知見の充実と県民理解の促進 ・モデルを活用した研究への支援（委託料ほか）6,862千円 〇県民の脱炭素化に向けたライフスタイル転換 ・スマホアプリを活用した運動の展開（負担金）6,400千円 〇中小企業の脱炭素経営への転換 ・「企業脱炭素化支援センター」の運営（委託料）37,000千円 〇地域循環共生圏の形成 ・地域循環共生圏の形成に資するプロジェクトを推進する市町への支援（補助金）91,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡県内の温室効果ガス削減率（2013年度比） （▲14.0%） ②再生可能エネルギー導入量（+17.4万kl） ③森づくり県民大作戦参加者数（+16,102人） ④地域循環共生圏の形成に向けたプロジェクトに取り組む市町数（+33市町）	関連URL	調整中

事業概要【消費スタイルのイノベーションによる地域経済活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	379,848千円（116,618千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・静岡、山梨、長野、新潟の中央日本4県を「新たな地域経済圏」の域内流通・域内調達の促進を図る ・食やスポーツ文化等を活かした情報発信等により域内観光交流を促進させ、「域内のマイクロツーリズム」を推進 ・県民や県外からの移住希望者等に普及・啓発を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新たな地域経済圏における販路開拓 ・物産展の開催等（委託料・負担金）8,000千円 ・商談会の開催等（委託料）17,900千円 ○「花の都」新しい生活様式対応需要拡大 ・栽培における新技術導入支援（負担金）5,000千円 ○各県の観光資源を生かした域内周遊及び域内への誘客促進 ・金等をテーマとした周遊・誘客企画（委託料）14,500千円 ○空き家活用促進事業＋「プラス〇の住まい」普及・啓発事業（移住・定住促進） ・県版空き家バンクの設置運営等（委託料）4,000千円		 ＜R5「バイ・山の洲」物産展オープニング式典＞
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産品の山の州3県（山梨県、長野県、新潟県）への流通金額（＋9億円） ②県産水産物の新たな県外需要開拓件数（＋10件） ③中央四県域内及び域外からの県への観光交流客数（＋7,000万人） ④空き家の解消戸数（＋1,882戸/年）		関連URL 調整中

事業概要【SDGsの達成に貢献する新たな農業推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	544,590千円(166,142千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・SDGsの達成に貢献する、環境と経済を両立する持続可能な農業の実現を目指す ・スマート農業技術の導入により、高品質・高機能で付加価値が高い農芸品の生産に磨きをかけ、生産性と収益性の向上を図る ・農(業)と食の好循環の形成により、持続可能な農業の地域への浸透を加速化 ・次世代を担う若手人材の育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○カーボンニュートラル等の環境負荷低減と生産性・収益性の両立を図る生産等技術の開発 (需用費、役務費、委託料等) 89,906千円 ○生産から流通、消費に至る様々な過程において活用される技術の産学官金連携と事業化(補助金) 65,000千円 ○シンガポールの工科大学等との連携を進め、成果の発展や人材の連携による新たな知見等を活用した研究開発 (報償費、需用費、役務費等) 1,667千円 ○高度研究人材などの育成 (報償費、需用費、委託料等) 2,944千円 ○農業高校等での研修会や農業関係事業者への啓発機会の提供 (報償費、使用料、委託料等) 5,725千円  プロジェクト拠点AOI-PARC  次世代栽培装置での研究開発  海外とのビジネス連携成果発表  事業化支援(ビジネスマッチング)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スマート農業技術を導入している重点支援経営体の割合 (+30.10%) ②AOIプロジェクト事業化案件創出件数 (+9件) ③本事業に参加した生徒が農業関連産業・教育機関に就職・進学する人数(+165人)	関連URL	調整中

事業概要【外国人よし、地域よし、企業よしの三方よしの多文化共生推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	231,255千円 (84,229千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・外国人が安心・快適に暮らし、日本語や技術・技能を身に付け、いきいきと活躍できる環境づくり (外国人よし) ・地域コミュニティや活動の活性化、地域活動の新たな担い手の確保 (地域よし) ・企業の新たな人材確保による、職場の活性化・生産性の向上 (企業よし)		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	定住外国人が正規雇用で安定的に働くための支援、留学生の定着促進、海外高度人材の本県企業での基幹人材としての活躍支援等により、本県への外国人の流れを創出するとともに、本県産業を支える人材として定着するための環境を整備する。 ○海外からの活力取り込み ・外国人材と県内企業等とのマッチング(16,000千円) ○海外高度人材の活躍を支援 ・県内企業を対象とした海外の大学生や大学院生等との海外合同面接 会の開催による、海外高度人材の採用の拡大(26,400千円) ○外国人の定着のための環境整備 ・技能検定基礎級学科試験に対応した日本語研修の実施 (7,403千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①海外高度人材活躍支援事業による県内企業への内定者数 (+145人) ②留学生の県内就職率 (+5.14%) ③外国人を雇用する企業等と連携した防災出前講座の開催回数 (+30回) ④外資系企業のサテライトオフィス誘致件数 (+5件)	関連URL	調整中



申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	149,164千円（67,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	本事業では、SDGsを通じた「つながる」機会を創出し、地域課題の解決及び新たな需要の喚起を市民、企業及び団体主導で実現するとともに、若者の定着につなげる仕組みづくりを目的としている。 SDGsのゴール8「経済成長」と13「気候変動」、17「パートナーシップ」を基軸に、SDGsを通じて様々なステークホルダーと「つながる」に展開していくことを推進力を創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 SDGs推進のネットワーク化 SDGs企業の交流会（委託・賃借料）1,500千円 2 SDGsの活動を通じたパートナーシップ 連携に特化した表彰事業（委託・謝金）3,000千円 3 SDGs金融の推進による中小企業等の支援 金融機関とSDGs企業のマッチング（委託）1,000千円 4 SDGsに資するグリーン産業の創出 PPA拡大、新技術開発支援（補助金）58,000千円 5 静岡市SDGsレポーター制度の構築 若者によるSDGs発信事業の実施（委託）1,500千円 6 次世代・ジェンダーの取組 SDGsユースサミットの開催（委託・賃借料）2,000千円	<SDGsに資するグリーン産業の創出> 経済 効果：経済活動の活性化 ● 新たなビジネスモデルの創出 ● 新商品・新サービス開発の促進 ● 環境の取組に対する金融商品の創出と投資の活発化 社会 効果：環境に配慮した商品・サービスの普及 ● 環境配慮型商品が市民に普及 ● 市民のSDGs意識向上 SDGsの推進 環境・経済・社会の統合的向上 効果：二酸化炭素排出量の削減 ● 脱炭素に資する新技術開発 ● 再生可能エネルギーの導入拡大 環境	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市SDGs宣言企業・団体やグリーン産業に取り組む企業への投融資実績（+35件） ②若者と企業・団体が静岡市SDGs連携アワードを通じて解決した地域課題件数（+20件） ③グリーン産業を通じて削減した温室効果ガス排出量（+2,923t-CO2） ④静岡市SDGs宣言企業・団体の登録数（+350団体）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s009121.html （静岡市SDGs宣言事業所・団体） https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2835/s001678.html （静岡市新技術開発等補助金） https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html （静岡市交付金関係リンク）

事業概要【2つの企業連携拠点の設置による地域経済活性化の推進】

推進当初

申請者	静岡県磐田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,714千円 (5,870千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中小企業等の競争力強化や、企業誘致の推進、創業・企業支援等、地域経済の活性化を図る ・首都圏企業のノウハウや技術を活用することで、社会課題解決を図る ・交流人口の拡大や移住・定住者の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○首都圏企業等との連携や情報交換を推進するための 拠点設置、コーディネーターの配置 ・拠点設置（賃借料） 1,200千円 ・コーディネーター配置（委託料） 4,500千円 ○シティプロモーションイベント、企業同士の交流会等、 交流人口の拡大や移住・定住者の増加に資するイベント開催 ・イベント演出・装飾関連経費（委託料） 50千円 ・イベント会場関連経費（使用料） 100千円 ・通信運搬関連経費（役務費） 20千円 首都圏 いわた首都圏 サテライトオフィス 【首都圏にコーディネーターを 配置（業務委託）】 ・首都圏企業や人材の情報収集 ・本市や本市企業との連携 ・本市のPR 磐田市 市役所 公民連携デスク 首都圏情報担当 ・産業活性化 （事業展開・立地・観光・移住等） ・地域課題の解決 ・行政のDX ・シティプロモーション 市内企業 ・外部連携による事業展開 ・高度な人材の活用 ・販路開拓 情報交換・連携 公民マッチング 市民マッチング		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①本事業を通じた首都圏企業と本市企業とのビジネスマッチング件数 （+6件） ②本事業を通じた本市のシティプロモーションイベントへの来場者数 （+300人） ③本事業を通じた本市への企業等進出件数（+2件） ④本事業を通じた本市と企業の公民連携協定締結及び実証実験実 施件数（+6件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.iwata.shizuoka.jp/sangyou_business/kiyouyou_shien/1011382.html （効果検証） https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shiseijouhou/gyouzaisei/chihousousei/1002649.html

事業概要【首都圏等複業人材を活用した地域活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,200千円(30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	●コロナ禍により、BtoBからBtoC向けの転換などを行っているが、人材難等により対応が困難な現状 ●中小企業の経営課題に対して首都圏等の複業人材をマッチングすることで、本市の関係人口として醸成しつつ、地元企業の課題解決に結びつけようとするものである。 ●合わせて、複業人材を呼び込むことで、関係人口、ひいては中長期的な定住人口の増加を目指すものである。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○令和6年度首都圏等複業人材・市内中小企業とのマッチング支援業務委託 16,000千円(委託費) ○令和6年度首都圏等企業による課題解決型地域交流プロジェクト創出事業業務委託 5,000千円(委託費) ○令和6年度複業人材による地域活性化事業 4,500千円(委託費) ○焼津PORTERSを軸とした複業人材の活動拠点間の交流促進マネジメント業務委託 4,500千円(委託費)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①首都圏等複業人材と地元企業のビジネスマッチング件数（+75社） ②首都圏等からの本事業に関する複業人材参加者数（+750名） ③進出企業拠点設置数・拠点に結び付いた個人事業主数（+12件） ④企業版ふるさと納税寄付件数（+6件）		関連URL https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihouseusei/chihouseuseisuishinkaigi.html

事業概要【生涯現役・いつまでも幸せに暮らし輝くまち藤枝プラン】

推進当初

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,309千円 (33,777千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	藤枝市ならではの「ICT」や「大学連携」及び「地域包括ケア」のプラットフォームや企業の連動により高齢者だけでなく、障害者・外国人などが、誰も取り残されずに社会参画し、互いに刺激を受けながら活動する「藤枝型共生のまち」を確立し、相互に「活躍」「暮らし」「コミュニティ」を築いて持続可能な地域づくりが進むことにより「生涯活躍のまち」を実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	□デジタル活用による不安のある高齢者層への助言や相談対応強化によりデジタルデバイドの解消を図るため、公共施設等へデジタル支援員を設置する（委託：14,300千円） □住民ボランティアの地域福祉活動として行う概ね5人以上の団体の高齢者等の外出支援について、住民ボランティアと市との協働により市がデマンドバス「ふじえだ足すと（アシスト）号」を運行する（自動車借上料：449千円、保険料：134千円 等） □55歳以上の活動的なシニアと地元でシニア採用に力を入れる企業をつなぐ就労支援事業と年配の技術保有者が幅広い世代を対象に職人の技を披露・体験できる技術伝承事業を開催する（委託：5,000千円）  デジタル支援員  ふじえだ足すと（アシスト）号  アクティブシニア活躍応援事業		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①多世代交流型出かけC A Rサービス支援事業での支援ボランティアの数（+22人） ②大学と連携した高齢者等の社会参画のための講座参加者数（+120人） ③「ふじえだ足すと（アシスト）号」連携先地域団体数（+26人） ④健康ハイキングイベントの参加者数（+250人）	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

申請者	静岡県伊豆市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,512千円 (10,945千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・交流人口・関係人口の増加により伊豆ファンを獲得し将来的に移住定住に繋げ、人口減少対策を行う ・伊豆をアウトドアの聖地として盛り上げ、的確な情報発信を行うことはアウトドア分野の活性化のみならず、既存の観光に対する新たなマッチングにも繋がる事業に発展する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域事業者による事業推進体制の構築事業 (990千円) ・初年度に結成した事業推進組織のメンバー拡充や運営体制の強化を目的として、定期的な意見交換会を開催する。併せて全体の資料や報告書の作成を行う ○ポータルサイトの維持管理運営事業 (1,672千円) ・ポータルサイトの維持管理、更新を行う。併せて、推進事業者向けの運用講習会を開催する。(サーバー・ドメイン管理1,000千円 S N S 運用335千円 運用講習会337千円) ○Camp王国伊豆の魅力発信事業 (8,283千円) ・コンセプトを表現するアクティビティ付プランの販売の企画運営 (1,419千円) ・周辺市町連携と事業者の誘客活動 (880千円) ・ポータルサイトの拡充と集客 (S N S 広告2,200千円・内容拡充のための取材と更新1,584千円) ・アウトドアメディアによるプロモーション記事や動画を作成し情報発信を強化 (継続) (2,200千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①Izu Camp . com project 推進事業による移住者数 (I・Uターン含む) (+13人) ②市営のキャンプ場3施設 (だるま山キャンプ場・萬城の滝キャンプ場 (recamp中伊豆)・ふるさと広場)利用者数 (+500人) ③Izu Camp . com project 推進事業による新規キャンプ場・新規アクティビティ事業者数 (6件) ④推進組織加盟者数 (企業含む) (+25件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://izuoutdoor.com/ (効果検証) https://www.city.izu.shizuoka.jp/soshiki/1005/10/2/2/4819.html

事業概要【多様なライフスタイルが集う新たな地域コミュニティ創生モデル事業】

推進当初

申請者	静岡県南伊豆町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,427千円 (8,094千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住者等受入れ体制構築の支援を行うことで集落全体が移住者を迎え入れ、定住に結びつけるための応援体制を構築する ・空き家や荒廃地の利活用促進により集落内の生活環境の向上や集落機能の向上にも寄与する ・移住促進・地方創生人材の確保・育成、地域コミュニティの維持、活性化、地方で遅れがちな地域内DXの推進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○町での暮らし体験、地域交流会ツアーの開催、関係人口拡大にかかる委託料（委託料1,600千円） ○町の移住ポータルサイトの改修にかかる委託料（3,500千円、賃借料170千円） ○企業誘致や移住促進のためのPR経費（イベント出展支援者旅費166千円、謝礼40千円、広告料600千円） ○都市部のIT人材、大学生を中心とした若者と連携、地域をフィールドとして活動の場を提供することで、地域課題の解決策やIT人材、若者が地域内で活躍できる環境構築、地域DX推進と若い世代の関係人口構築に取り組むための活動費：1,300千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町の支援事業を活用した移住者数（+37人） ②町内で活動するデジタル人材の数（+30人） ③空き家活用数（+16件） ④共同作業（活動）への地域内及び地域外からの参加者数（+95人）	関連URL	調整中

事業概要【東アジア文化都市2023静岡県開催と連動した誘客促進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	506,761千円 (191,291千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・文化的魅力を活かした持続的な観光誘客を図る ・旅行スタイルの多様化への対応に向けたデジタル社会の形成を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○文化振興による地域社会の発展に向けた取組 ・県立劇団SPACによる野外芸術イベントの実施 (負担金) 45,000千円 ・「演劇アカデミー」の開催による発信力を持った若い人材の育成 (委託料) 15,000千円 ・食・食文化を国内や中国、韓国に発信するためのイベント開催 (需用費、役務費、委託料) 8,832千円 ・日本・世界の温泉文化を国内外に発信するイベントの開催 6,500千円 ・「伊豆文学」のブランド力を活用した文学と他分野とのコラボレーションイベントの実施 (負担金) 5,000千円 ・県東部地域における上質な音楽文化の鑑賞機会の提供 (委託料) 9,000千円 ・静岡県立美術館が有するコレクションを活用した企画の実施 (役務費、委託料) 4,000千円 ・民俗文化財の魅力発信のためのPR動画やマップの作成、WEB広告展開 (委託料) 2,959千円 ○観光デジタル情報プラットフォームの機能強化・活用 ・観光デジタル情報プラットフォーム (観光アプリ等) の機能改修 (委託料、負担金) 30,000千円 ・県内文化・観光資源の情報発信のためのイベント運営・データ解析によるアプリ利用拡大の取組 (委託料、使用料、負担金) 25,000千円 ・観光DX推進に向けた旅行者データの収集・発信機能の改修 (委託料、負担金) 20,000千円 ・デジタルマーケティング推進のための、データサイエンティストによる市町への伴走支援の実施 (負担金) 20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人宿泊客数 (+223万人) ②1年間に文化・芸術の鑑賞または活動を行った人の割合 (+34%) ③観光交流客数 (+6,902万人) ④TIPSアプリのダウンロード数 (+75,000件)		関連URL 調整中



事業概要【若者の県内就業拡大事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	447,072千円 (153,677千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	若者世代の転出超過に歯止めをかけるため、本県で活躍したいと思う若者や次代を担う人材の確保に取り組む ・若者の就職志向と県内産業構造のミスマッチ解消に向けて、企業の誘致や県内産業の育成を図る ・若者の県内就職促進に向けて、県内大学生及び本県出身の県外大学生、移住希望者への地域企業の認知拡大を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者に魅力ある企業の集積・定着推進 ・誘致候補企業リスト作成 (委託料) 5,040千円 ・企業誘致専任職員配置 (報酬・役務費 ほか) 16,301千円 ・研究開発、事業化促進 (補助金) 87,000千円 ・スタートアップピッチイベント開催 (委託料) 10,000千円 ○県内学生の県内就職促進 ・地域志向型単位互換授業の実施 (委託料) 2,142千円 ・産学官連携インターンシッププログラムの実施 (委託料) 1,918千円 ・大学による県内定着促進事業への支援 (委託料) 1,876千円 ○県外学生・若者のU・Iターン促進 ・企業との協働イベント開催、動画や情報誌、ウェブサイト等による大学生・若者向けの情報発信 (委託料) 29,400千円  企業×学生による課題解決プロジェクト		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外大学の県内出身の全就職者のうち、県内企業に就職した学生の割合 (+3.8%) ②県内大学卒業就職者の県内企業等就職割合 (+2.7%) ③企業進出決定数 (情報通信やデザイン等のサービス業) (+38件)	関連URL	調整中

事業概要【若者・子育て世代の移住定住促進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,170千円 (36,226千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・若者・子育て世代に選ばれ、住み続けられる持続可能な地域の形成を図る ・若者・子育て世代の更なる呼び込みを図る ・若年層の「結婚」を機とした県外転出の抑制を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○テレワーク移住の促進 ・ターゲット広告、テレワーカー等との交流会の実施 (委託費：2,500千円) ・新しい働き方・暮らし方セミナーの実施 (委託費：3,000千円) ○若者と地域との関わりの創出 ・専属コーディネーターの配置 (人件費、旅費：4,759千円) ・ウェブサイトの運用・改修、若者による情報発信の企画 (委託費等：5,851千円) ・若者と地域の関係づくり優良事例の普及、団体間ネットワーク構築 (委託費：6,000千円) ・NPOを対象とした外部人材の受入プランの立案と若者等とのマッチング支援 (委託費：6,000千円) ・関係人口を拡大する取組への支援 (補助金：5,000千円) ・NPOのネットワーク構築のための交流会の開催 (委託費：3,116千円)  新しい働き方・暮らし方セミナー		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住相談窓口等を利用し県外から移住した20代から40代の子育て世代の世帯主数 (+376人) ②本事業による若者が参加できる地域づくり活動の支援 (+105件) ③ふじのくに出会いサポートセンターの会員数 (+1,112人)	関連URL	調整中

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	225,932千円（77,190千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	○仕事と子育ての両立を支援する環境づくりを支援する ・県内企業に対して、従業員が仕事と子育てを両立することができる環境づくりを支援 ・出産・育児等で長期離職している女性等の働き手に、デジタルスキルを身に付ける機会を提供し再就職を支援 ・クラウドワークサービスの利活用促進により、子育てと両立できる働き方を提供する環境整備を支援		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な働き方導入推進巡回訪問 ・支援員が県内企業を訪問し、テレワークの導入や女性活躍の推進への働きかけを実施（委託費）11,908千円 ○男性の育児休業取得促進応援手当の支給 ・男性の育児休業取得促進応援手当に係る広報費（委託費）2,000千円 ○オンライン講座（ITスキル向上講座）の開催 ・講座開催、事務局運営費（委託費）32,913千円 ○ローカルクラウドワークサービス ・以下の内容を実施し、クラウドワークサービスの利用活用を促進意識啓発・情報発信（委託費：3,000千円） - 受注ワーカー等の人材育成（委託費等：13,369千円） - 仕事の紹介等の受注支援（委託費：14,000千円）  ←しずワーク（クラウドソーシングを活用した働き方の実践支援）  ←男性の育児休業取得促進応援手当の支給		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①仕事と子育て（介護）の両立支援・職場環境づくりに取り組んでいる企業の割合（+7.8%） ②オンライン講座（ITスキル向上講座）により新規就業実現した者の数（+150人） ③クラウドワークサービスによる受注ワーカー数（+200人）	関連URL	調整中

事業概要【地域資源を生かした脱炭素化の取組による持続可能な地域づくり形成事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	283,097千円 (82,870千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	自動車産業をはじめ、ものづくり産業が盛んな静岡県では、温室効果ガス排出量の約6割を産業・業務部門が占めており、持続可能な地域づくりに向けて、中小企業等の脱炭素経営への転換や省エネ・再エネの導入、次世代自動車への対応、さらに、消費者のライフスタイルの転換や地球環境問題に積極的に取り組む人材の育成を進めることにより、地域の脱炭素社会への転換を推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中小企業及び消費者（家庭）の意識の転換（39,870千円） ・金融機関と連携した中小企業等の実践支援（委託費等） ・大学生・高校生など将来を担う人材育成ワークショップ（負担金） ・地域コミュニティでの節電・省エネ講座（委託費等） ○企業への脱炭素化支援（10,000千円） ・県内Jクレジット導入に向けたセミナー開催、実証支援等（補助金、負担金等） ・3次元点群データを活用した森林Jクレジット化への支援（役務費等） ○次世代自動車に対応した試作品開発・事業化助成（33,000千円） ・県内企業の次世代自動車対応のための試作品開発への支援や事業化に向けた支援（補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①次世代自動車の試作品開発等支援件数（+48件） ②新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数（+225件） ③県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入率（+4.8%）	関連URL	調整中

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	279,000千円 (148,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	3次元点群データによる「バーチャル・シズオカ」や東京都との共同運営を行う「デジタルツイン3Dビューワ」を最大限活用しつつ、現実空間での位置情報測位の精度を向上させることで、本県の「場の力」を活かしながら、データをあらゆる分野へ活用することにより、地域の稼ぐ力や生産性の向上、新たな担い手の確保につなげ、様々な社会的課題に対して効率的に対応し、地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 ベースとなる電子基準点の設置・データ取得 (1) 電子基準点の設置、データの取得・公開 (委託料) 142,000千円 2 データを活用した先導的モデル事業の実施 (1) 「新技術交流イベント」の開催 (使用料等) 4,000千円 3 ハード事業経費 (1) アンテナ及び、データ配信のための処理用パソコン等を整備 2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①バーチャル・シズオカのデジタルツイン環境を活用した民間事業者数 (+1,500件) ②電子基準点を活用した測量設計業務件数 (+200件) ③「新技術交流イベント」のバーチャル空間への参加者数 (+600人)		関連URL 調整中

事業概要【中小製造事業者「ヒトづくり」推進事業】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,096千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・本市の主要産業である製造業の更なる魅力向上・競争力強化を図るとともに、中小製造事業者のIT導入及び人材育成など、短期的・長期的両面から「ヒトづくり」事業を重点的に取り組むことで、労働力の「質」を高め、かつ「量」の確保につなげ、地域全体の活力を高める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○民間団体によるオープンファクトリー事業に対する補助金 2,000千円 ○市内事業者が本市指定の教育機関でリスクリングのための講座を受講した際の費用に対する補助金 3,000千円 ○取り組むべきDXを明確にするための専門家による伴走型の支援の実施のための委託料 委託料14,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口における本市製造業への就業率 (+1%) ②オープンファクトリー事業への参加が自社にとってプラスになったと捉える市内中小製造事業者の割合 (+80%) ③自社のDXに取り組む市内中小製造事業者の割合 (+5%) ④人材育成に取り組む市内中小製造事業者の割合 (+5%)	関連URL	調整中

事業概要【誰一人取り残されないインクルーシブ社会実現プロジェクト】

推進当初

申請者	静岡県浜松市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,972千円（11,802千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	総活躍社会の醸成を図り、誰一人取り残さないインクルーシブな社会の実現を目指す。 ・外国人市民の活躍やジェンダー等による差別の解消を図る。 ・障がいをもった方々の社会参加促進を図る。 ・地域経済の循環促進と地域消費の拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外国人メンターによる就労・起業促進事業 （委託料・謝礼）2,272千円 ・外国人留学生からの個別相談対応 ・メンター・留学生・企業等の交流会の開催 ・メンターへの謝礼 ○外国人留学生就職支援事業 （委託料）4,580千円 ・外国人留学生等と市内企業のマッチングイベント開催 ・インターンシップイベントの開催 ・外国人留学生等への個別就労サポート ・企業の外国人等受入れ促進等 ○インクルーシブスポーツフェスティバル開催事業 （負担金）4,950千円 ・障がいの有無、性別や国籍を問わず誰もが参加できる インクルーシブスポーツ体験イベントの開催等 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡県内での外国人留学生就職率（+3.6%） ②パラスポーツへの興味度（+3%） ③成人の週1回以上のスポーツ実施率（+15%）	関連URL	調整中

事業概要【Local Coop構想を活用した共助による地域づくりプロジェクト】

推進当初

申請者	静岡県浜松市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,900千円 (19,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・税収に頼らず、住民が地域の中でともに助け合いながら豊かに生活できる仕組みを目指す。 ・地域内外の住民が、ともに助け合い地域を支える地域づくりを目指す。 ・中山間地域の持続可能な地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ランドデザインの策定（委託料）4,400千円 ローカルコープ実現に向け、専門家からのアドバイスを受ける中で協力可能な企業等を調査・調整する。 また、住民会議において検討された内容に基づき、骨格となる事業を含めたランドデザインを策定する。 ○住民ワークショップ開催（委託料）3,300千円 住民会議における成果とランドデザイン策定状況を踏まえて住民ワークショップを開催し、事業内容を検討する。 ○活動拠点等調整業務等（委託料）12,100千円 活動拠点となる施設等の絞り込み、地元調整及び拠点の整備を行うとともに、実際に地域に移住し活動する人材の採用に向けた準備等を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 (+25.7%) ②アトグ・デジ外両面においてプロジェクトに参加する人数 (+185人) ③貸付事業を活用した起業件数 (+8件)	関連URL	調整中



事業概要【複業人材を活用したDX推進による市内産業の魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	10,835千円 (4,491千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・複業人材を活用し市内企業のDX等の推進を図る ・ICT企業等の誘致を図る ・ICT関連のスキルを有する人材の流出を防止する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業内の中核人材の育成、企業の経営基盤強化につなげるため、複業人材による実践的な勉強会等を実施。 ・複業人材活用促進事業（委託料）2,491千円 ○本市の労働環境や移住環境等について体験してもらい、IT企業の誘致を図るため、体験型視察ツアーを実施する。 ・沼津市体験型視察ツアー（委託料）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じてDXに取り組んだ市内企業数（+30社） ②沼津市体験型視察ツアーへの参加社数（+45社） ③本事業を通じて当市で拠点を開設した企業数（+9社） ④沼津市デジタル人事育成プログラムへの参加人数（+45人）		関連URL https://www.city.numazu.shizuoka.jp/business/topics/2023/keieijuku_workshop/index.htm

事業概要【次世代につなぐ農業・地域サービス事業体の創出】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,200千円 (29,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・担い手農業者が、まとまった規模の農地で、最先端のスマート技術も活用しながら高効率で儲かる農業に取り組むことができる環境を構築する。 ・農業・地域支援サービスの展開により、農業者の防除や草刈り作業などの負担を軽減させる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○農業・地域支援サービス事業体展開支援事業 ・運営費補助金 6,500千円 ・スマート農機管理・オペレーター育成補助金 1,000千円 ・地産地消で稼ぐ・実践型事業補助金 3,000千円 ○農地大区画化整備・ICT水利システム設置事業 ・農地（水田）大区画化圃場整備費 8,000千円 ・ICT水利システム設置 1,200千円 ○青年等就農者スマート農業展開支援事業 ・スマート農業に資する機械・施設導入費補助 10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①35歳未満の就農者数（+130人） ②担い手への農地集積（+135%） ③農家資格・農地所有適格法人以外の新規参入数（+9人・社） ④農業・地域支援サービス事業体の利用者数（+30人）		関連URL https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihouseisei/chihouseiseisuishinkaigi.html

事業概要【スタートアップ支援事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	83,648千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・スタートアップと地元企業との融合を拡大・加速することにより、ビジネスモデルの変革や新規事業の立上げを通じた、強く持続的な産業の創出を図る。 ・スタートアップの集積や活動が活発化することにより、地域でも起業家に触れる機会が増え、就職だけでなく、起業・創業することも選択肢の一つであるという機運が醸成され、地域発のスタートアップが生成される土壌が実現する。 ・産業の担い手が持続的に再生産される構造を創出し、若年層の市外・県外への就職による人口流出の抑制と、市外・県外からの雇用の拡大につなげることで、『ひとと仕事が再生産される持続可能な地域経済の成長』を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【スタートアップマッチング等支援窓口の開設委託 2,500千円】 【起業創業等支援窓口委託 2,500千円】 【デジタルシフト実証実験補助 10,000千円 (2,500千円×4件)】 ・補助対象者 DX促進モデル事業を実施する市内事業者 ・補助率 1/2 ・補助上限額 2,500千円 【デジタル人材育成プログラム作成委託 5,000千円】 【U18を対象としたスタートアップ人材育成・発掘委託 5,000千円】 【スタートアップ拠点開設支援】5,000千円 (2,500千円×2件) スタートアップマッチング等支援窓口の開設(イメージ)  市外からスタートアップを呼び込む+市内で新たなスタートアップを創出・育成 →『ひとと仕事が再生産される持続可能な地域経済の成長』		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スタートアップの進出数 (+20社) ②様々なプレイヤー間の共創による新規サービス創出件数 (+15件) ③市内学生等のうち、起業に関心を持っている人数(アンケートによる把握) (+15人)	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihouseusei/chihouseuseisuishinkaigi.html

事業概要【地域コミュニティによる地域課題解決支援事業

－心豊かな暮らしの実現により「Well_being」なまちづくりを目指す－】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	89,928千円 (31,617千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・人口減少、高齢化、繋がり希薄化などの課題を地域住民等と行政が共有し、新たな地域力のあるコミュニティ組織による地域運営を図る。 ・人生100年時代、生きがいを持って社会参加する活動ができ、誰もがいつまでも、住み慣れた地域で健康で心豊かな暮らしを送ることができる地域社会を目指す。 ・移住希望者が、安心して移住できるよう伴走型支援により、地域の新たな担い手として活躍できる環境構築を図る。		
事業概要・ 主な経費	【地域コミュニティ共創・生きがい創出事業】 ○地域において「共助」の意識醸成を図るための研修会を開催 ・研修会（委託料）2,500千円 ○地域運営組織の構築に向け、専門支援員等が設立に向けサポート ・事務補助（人件費）3,141千円 ・事務費（消耗品費）200千円 ○生きがいづくりの推進 ・地域デジタル活用環境構築（委託料）6,054千円 ・主催講座、講師育成講座（委託料）930千円 ・講師謝礼（報償費）50千円 ・スマホ相談員育成（委託料）157千円 ・スマホ相談員謝礼等（報償費）279千円 ・スマイルライフ推進センター事務補助（人件費）2,794千円 ・事務費（消耗品費）50千円 ・WEBやHP、チラシの媒体を活用した情報発信（委託料）1,805千円 ○地域交流センターに地域で活用するデジタル機器の導入 ・デジタル機器購入費（大型モニター・ノートパソコン・Webカメラ等）5,877千円 【移住就業支援事業】 ○移住者等へのフォロー・移住体験・移住相談等の実施 ・事務補助（人件費）3,151千円 ・アドバイザー謝礼（報償費）100千円 ・お試し移住・プロモーション制作（委託料）4,529千円		
KPI	※経費内訳はR6年度事業費 ①地域運営組織を構築し、地域活動を始めた組織数（+11地域） ②焼津市民の健康寿命（平均自立期間）（+1.9年） ③地域コミュニティ組織に参画する個人、企業、NPO法人等の数（+264人） ④移住者及び二拠点居住者数（+64個人団体数）		
	【仕組みづくりイメージ図】 地域交流センター 地域の活動拠点 地域のデジタルステーション 地域運営組織の設立支援 研修会の開催や情報発信 ・地域の組織づくりを支援 ・地域課題解決のためのサポート ・人材育成研修会の開催や情報発信 ・デジタルデバッド支援など ・移住相談支援など スマイルライフ推進課 誘致戦略課 情報共有連携 支援 講師やファシリテーターなど紹介・派遣 研修会開催 支援サポート 相談 地域で活動 つながる 地域交流センター単位の各地域で ・地域の多様な主体が参画、連携し、地域課題の解決に取り組む ・どんな地域にしていきたいか、協議会で何に取り組むかは、地域が決める 防災対策、買物支援・ゴミ出し支援、見守り、居場所づくり、河川清掃など 地域運営組織（協議会） 自治会・地域の団体・事業者・学校・行政・ボランティア・NPO法人・市民活動団体・移住者など多様な主体が参画連携 デジタル活用 オンライン講座 各種講座連携 健康維持と生きがいづくりの活動拠点 スマイルライフ推進センターR8～ 移住者の地域活動参加相談 生きがいづくり・社会参加等支援		
	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihouseisei/chihouseiseisuishinkai gi.html	

事業概要【(大学とのまちづくり2.0)持続可能な地域を拓く人づくり推進事業】

推進当初

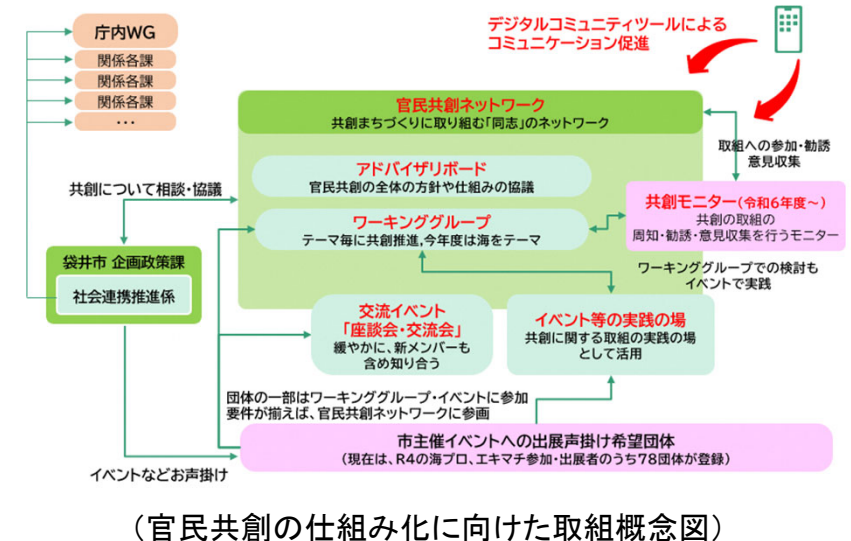
申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,320千円 (34,975千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	学生の地元企業への就職率の低下、進学時の県外への大幅な流出などの課題への対応と、アフターコロナにおけるDX等を含めた市内企業の革新とこれを担う人材確保を図るため、これまで培ってきた4K施策やコンパクト＋ネットワークのまちづくり、ICT活用などの強みを活かし、産学官でイノベーションの創出と高度人材育成、女性活躍を一体的に進める。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	□「いつからでも学び、チャレンジできるまち」に向け、地域社会・地域経済を担う「人づくり」を進めるため、大学と連携し、多様な学びの機会を提供する。(委託：12,120千円) □連携大学の専門分野から多様な学びを提供するプログラム「未来学」を実施し、多様な学びの提供と学生相互の交流を図ることで、将来の地域を担う人材づくりを推進する。(委託：3,000千円) □地域経済の活性化や持続的な発展及び市内中小企業のさらなる成長を促進するため、本市及び首都圏企業等が有するビジネス資源を活用し、自らの事業の創出・発展・拡大に取り組む企業や創業者等のスタートアップの支援を実施する。(委託：5,200千円)  藤枝市民大学  静岡中部「未来学」  フジエダ未来共創会議		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業と首都圏企業のビジネスマッチング件数 (+9件) ②学習歴のデジタル証明発行件数 (+1,200件) ③スタートアップ創業数 (+15社) ④インターンシップ導入企業数 (+42社)	関連URL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukeiei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

事業概要【“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業

～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～】

推進当初

申請者	静岡県袋井市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	115,700千円 (56,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・人口減少が進み公助の縮小が避けられない中で、新たなまちの経営戦略（抑制戦略と適応戦略の同時展開）として、行政と共に市民や事業者が互いに望むまちを共助で実現する「共創のまちづくり」を目指すもの。 ・市の公的な信用の下、市民のニーズが重複する地域の拠点や機会を接点に、地域の共領域を拡大させ、袋井ならではの豊かさや暮らし良さを地域住民が自ら創り出していくことが出来る“まちの仕組み”づくりを図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりを目指し、運営体制やルール作りのための実践的な実証実験に取り組むとともに、共創の取組の普及・人材育成を推進するほか、デジタル技術を用いた地域のニーズ把握や繋がりづくりも併せて試行していく。 ○官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくり ・官民共創の組織運営支援と仕組みづくりの検討(委託料)20,000千円 ・地域の拠点を接点としたお試し事業(委託料ほか)21,600千円 ・地域経済循環分析(委託料)4,500千円 ○官民共創のまちづくり推進のための人づくり ・人づくりに向けた研修会・講座の実施（委託料ほか）6,075千円 ・スタートアップ企業との勉強会・交流会（委託料）3,925千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への転入超過数（+500人） ②官民共創の推進体制「ワーキンググループ」への参加者数（+500人） ③官民共創の推進体制「官民共創ネットワーク」への登録者数（+800人） ④官民共創の取組参加者の暮らしの満足度（+90%）	関連URL	https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/4/2/3/12283.html



事業概要【関係人口の創出拡大と移住定住の推進事業】

推進当初

申請者	静岡県東伊豆町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	25,200千円 (8,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住に関する様々な情報を見える化することで、関係人口の創出と移住定住の推進を図る。 ・「移住チャレンジしやすい町」を目指し保育園留学を実施し、子育て世代への移住促進を図る。 ・東伊豆ファンクラブ制度により、歴史・文化など町の魅力を会報等で情報発信しながら関係人口数を把握していくとともに、移住定住の促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 空き家物件を調査発掘し空き家バンクへの誘導するとともに、エントリーページを開設する。 ・優良物件調査、エントリーページ運用（委託料）3,300千円 ○ 移住・子育て・ふるさと納税に関するパンフレット作成 ・パンフレット情報更新、印刷（印刷製本費）300千円 ○ 関係人口創出拡大と移住定住推進に関する特設サイト開設 ・サイト開設（委託料）2,000千円 ○ 保育園留学の運用 ・ランニング費用（委託料）3,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 移住者数（+25人） ② 東伊豆町ファンクラブの会員数（+350人） ③ 保育園留学による経済流入額（+14,800千円） ④ 空き家バンク年間新規登録件数（+25件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/ （効果検証） 調整中

事業概要【海洋版デジタル田園都市国家構想のモデル構築事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,140,403千円(176,475千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・海洋をテーマに、地方による先導的取組を国全体、将来的には世界へと広く展開していくことを目的とした「海洋版デジタル田園都市国家構想」のモデル構築を図る。 ・「海洋イノベーションエコシステム」を創生し、人材・事業・資金の好循環を図る。 ・「海洋スタートアップの支援体制」を構築し、経済発展の牽引役となる海洋スタートアップの早急な創出を図る。		
事業概要・ 主な経費	○「BLUE ECONOMY EXPO」の開催による、スタートアップの集積、海外VCを含む国内外の投資家の参入を促進 ・イベントの開催・運営（推進主体への補助金）40,000千円 ○「The Blue Tech Cluster Alliance」への加盟に向けた調整 ・代表機関との加盟に向けた協議、加盟後の共同研究等の協働（推進主体への補助金）5,000千円 ○研究開発の促進、成果の社会実装の場としての拠点形成に資する「駿河湾実証フィールド」の整備、推進 ・駿河湾をはじめとした静岡の海をテストベッドとし、海洋のデジタル化研究開発の体制を整備（推進主体への補助金）82,754千円 ○海洋スタートアップ企業の誘致・集積、創出・育成を総合的に支援、高度デジタル人材の確保、活用 ・「静岡県スタートアップ支援戦略」に基づき、海洋スタートアップ企業の誘致及び新規創出を図る（推進主体への補助金）35,321千円 他 「BLUE ECONOMY EXPO@Suruga Bay」の開催 1 背景 ○駿河湾は世界有数の急峻な海底地形を持ち日本一深い湾（水深2,500m） ○清水港には、海洋に関連した研究・開発機関や企業、大学等が集積（地球深部探査船「ちきゅう」の寄港地） ◎駿河湾は世界にも類をみない実証フィールドとして大きなポテンシャルを有している ○そのポテンシャルを活かし、研究開発の促進、成果の社会実装の場として先進的拠点形成を目指す 2 「BLUE ECONOMY EXPO@Suruga Bay」開催の狙い ○駿河湾のポテンシャルを国内外に示す ○「海」に関する先進情報の集積・情報発信 ・国内外から、バイオ・機械・通信等「海」に関連する多様な産業分野の企業や研究機関に参加いただき、静岡の地で国際的な最新の知見に触れる場を提供 ・継続的開催により、拠点性を高める ○「海」に関する新たな価値創造 ・国内外の多様な産業分野の企業等の相互交流を通じてイノベーションを期待 <BLUE ECONOMY EXPO@Suruga Bayの概要> 【開催時期】 令和6年7月17日（水）～18日（木） 【開催会場】 静岡県静岡市清水区内（清水港 日の出地区） 【開催概要】 ○海の未来会議@駿河湾 ・海洋課題と解決をテーマとした基調講演、ブルーエコノミーへの取り組みについての国内外の事例紹介等 ○ローカルエリアネットワーク会議 ・海洋関連産業振興に取り組む自治体等の事例紹介 ○海のEXPO@駿河湾（展示会） ・多種多様な海洋関連企業に取り組み、企業・アカデミア等による展示 ・出展団体によるプレゼンテーション ・成果物の体験 ・出展団体との商談、マッチング機会の提供 等 ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①地域における新規雇用者数（+65人） ②海洋スタートアップ創出・誘致数（+20社） ③国内外のスタートアップ、VC、投資家等の招致件数（+150件） ④国外の研究機関等との共同研究件数（+32件）		関連URL 調整中

事業概要【静岡の地域資源を活かしたインバウンド推進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	503,510千円 (137,670千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んだインバウンド需要の早期回復 ・本県の観光資源を活かした誘客事業、旅行商品を造成し、滞在日数長期化や旅行消費額拡大を図る ・本県の外国人観光客受入の玄関口となる富士山静岡空港の利活用促進		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成・魅力発信 ・海外で人気なアニメ等の映像コンテンツを活用したプロモーションやスタンプラリー等の実施 (委託料他) 45,000千円 ・日本三霊山をテーマとした広域周遊の促進 (負担金) 6,000千円 ・食を活用した体験プログラム造成やイベント実施による誘客促進 (委託料他) 30,000千円 ・海外に向けた本県産日本酒の魅力発信 (委託料) 6,670千円 ・富士山を詠んだ長歌活用したプロモーション (委託料) 500千円 ○効果的なプロモーションの実施 ・海外OTAサイトでの本県特集ページ開設 (委託料) 15,000千円 ・欧米豪向け県内周遊コースの商品化、販売促進 (補助金) 13,500千円 ・富士山静岡空港を活用した魅力発信 (委託料) 21,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+3,664億円) ②訪日外国人平均宿泊日数 (+0.6泊) ③アメリカ、イギリス、オーストラリアからの外国人宿泊者数 (+30千人) ④本事業により造成されたインバウンド向け旅行商品造成数 (+36件)	関連URL	調整中

事業概要【外国人×障害者×女性 多様な人材活躍・育成事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	451,397千円 (103,399千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・外国人雇用を検討している県内企業を支援することにより、外国人材の活躍を通じた企業の新たな成長を支援する。 ・障害のある人の工賃向上及び就労訓練の機会を創出し、一般就労への移行につなげていく。 ・療育体制を確立し、全国初となるパイロットセンターとしてモデル事業を実施する。 ・女性特有の健康課題の啓発及びフェムテックの県内企業への導入促進を図る。 ・ダイバーシティ経営企業表彰や専門家等の派遣により、県内企業におけるダイバーシティ経営の促進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○外国人雇用に関する専門家・アドバイザーを企業に派遣（委託料2,299千円） ○障害における療育体制の整備、生産性の向上 ・療育センター開設準備（補助金69,000千円） ・障害福祉事業所の生産性向上のため、専門家による個別の伴走支援を実施（委託費、報償費：8,400千円） ○女性特有の健康課題の啓発及びフェムテックの県内企業への導入促進を実施（委託料14,200千円） ○県内企業におけるダイバーシティ経営の促進 ・企業の多様な就労環境の整備（委託料、報償費6,500千円） ・ダイバーシティ経営の普及促進（委託料3,000千円）   		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+696.11千円） ②海外高度人材活躍支援事業による内定者数（+165人） ③障害者雇用率の推移（+0.30%） ④女性活躍応援会議参加企業のうち福利厚生等にフェムテックを取り入れた企業の割合（+98.80%）	関連URL	調整中

事業概要【スポーツを通じた静岡県への誘客促進事業】

推進当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	193,500千円 (59,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	本県への来訪者数と滞在日数を伸ばし、旅行消費額を高めるために、以下の事業に取り組む ・プロスポーツチーム観戦と観光コンテンツの組み合わせによる周遊 ・大規模スポーツ大会の継続的な開催と長期滞在を見据えた合宿等のコンテンツづくり		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロスポーツチームと企業のマッチング ・観戦ビジネスを拡大する事業を展開 (委託費) 10,000千円 ○大規模スポーツ大会誘致補助金により誘客を推進 (補助金) 10,000千円 ○協賛スポンサーや集客が見込まれる大会をモデル的に開催 (委託費) 10,000千円 ○スポーツを活用した先進的なまちづくりの取組への助成制度創設 ・地域が自主的にスポーツを通じた誘客促進などの取組を行うことができる体制づくりを推進(補助金13,500千円) ○セミナーやモニターツアーの開催など、武道ツーリズムによる誘客、受入体制強化 (委託費等) 7,000千円 ○スポーツ医科学を活かした合宿メニューの開発 ・自転車ハイパフォーマンスセンター (HPCJC) の自転車トレーニングによる心肺機能の向上等を他競技に転用する合宿等プログラムの開発 (委託費) 9,000千円 ○企業とプロスポーツチームのマッチング  ○モデル大会を開催  ○武道ツーリズム (海外プロモーション)  ○自転車ハイパフォーマンスセンター (HPCJC) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+1,872億円) ②県内延べ宿泊客数 (+7,052万人泊) ③スポーツを通じた県内外の交流人口 (+6,258,557人) ④プロチーム観戦者数 (+391,000人)	関連URL	調整中

事業概要【スタートアップ協業促進事業】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	510,000千円 (170,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内経済にインパクトを与えるスタートアップの呼び込みや、スタートアップと市内企業との連携を促進することで、革新的な技術やアイデアで産業構造の転換や新たな社会の価値創出を図り、次代の経済成長を牽引する新産業創出やイノベーションの推進による企業の競争力の強化や持続的な成長・発展につなげ地域経済の活性化を目指す。 ・これらを自律的・持続的に実現させるために、市内はもとより、県域や首都圏に広く存在する強みや成長資源を取り込み、スタートアップが静岡で活動しながら規模の拡大を伴う事業発展を行い、リソースの呼び込みと次の投資にまわる好循環を実現できる環境の形成に取り組むことで、地域で稼ぐことができ、若者に魅力ある「しごと」を創出し、多様な人々の地域への流入を促し、市民等による活発な都市活動がなされる持続可能なまちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	成果発表会のイメージ (静岡市実施R5アクセラレーションプログラム)   ○スタートアップとの連携による課題解決促進事業 ・運営委託料（委託料）65,000千円 ・実証実験支援金（負担金・補助金）62,500千円 ○自由提案型スタートアップ社会実装促進事業 ・運営委託料（委託料）35,000千円 ・実装支援金（報償費）5,000千円 ○スタートアップ起業家による出前講座、起業体験プログラムの実施 ・運営委託料（委託料）3,500千円 ○市民向けアントレシップセミナーの実施 ・運営委託料（委託料）1,750千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+1,196人） ②本事業を通じ創出された協業・共創プロジェクト数（+40件） ③働きやすいまちだと思う人の割合（+5.2%） ④スタートアップや起業に関心を持つ学生の割合（+3.0%）	関連URL	調整中

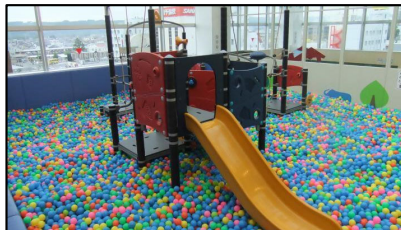
事業概要【インクルーシブ雇用による誰もが活躍できる都市の実現】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,380千円 (43,460千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・業務の切り出し方法等、企業へのコンサルティング支援や普及啓発を行い、就労希望者の受入れ拡大を図る。 ・デジタルツールを活用した就労希望者の能力・適性判断手法を確立し、就労準備の支援及びマッチングへの活用を図る。 ・就労希望者と企業のマッチングを支援し、多様な働き方による市内の活性化・市民の活躍推進を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇企業へコンサルティング等マッチング支援 (委託料) ・企業への訪問・開拓、コンサルティング実施 19,896千円 ・普及啓発に係る費用 6,980千円 ・調査・検証、事業運営費等 6,124千円 〇企業及び本人支援・コンソーシアム設立等新制度検討費 ・インセンティブ付与・PFS制度検討費 (需用費等) 216千円 ・本人向けポイント付与制度・コンソーシアム構築 244千円 〇アセスメントモデル事業 (委託料) ・アセスメント実施 3,093千円 ・事業所、企業職員への研修費等 6,907千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+30%） ②企業の新規開拓数（+750社） ③インクルーシブ雇用・アセスメント手法普及イベント・連携会議等、参加者数（+1,000人） ④インクルーシブ雇用・アセスメント手法に係る研修参加者数（+500人）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要【中心市街地活性化に向けた子どもの遊び場設置・運営事業】

推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,000千円 (60,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・子育て世帯のニーズを充足する魅力を創出し、中心市街地への来街を促す ・新たな民間投資を呼び込み、空き店舗の新たな活用を促す ・親子の来街をきっかけとした新たなにぎわいづくり、中心市街地の活性を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	＜静岡地区中心市街地＞ ○補助制度を創設し民間投資を誘導 ・屋内型遊び場事業支援補助金 20,000千円 ・子育て関連施設出店支援事業補助金 15,000千円 ＜清水地区中心市街地＞ ○実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの実施や空き店舗を活用した子どもや子育て団体の活動の場づくり ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 25,000千円 ○子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助制度 ・子育て関連施設出店支援事業補助金【再掲】 15,000千円  屋内型遊び場イメージ (参考:島田市子ども館)  アーケード下の活用イメージ (参考:かけっこ教室の様子)  子育て世帯が利用する店舗の誘導  空き店舗の遊び場イメージ (参考:子育て支援センター)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口 (▲6,941人) ②歩行者通行量 (静岡地区) (+1,124人/日) ③歩行者通行量 (清水地区) (+304人/日)	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html

事業概要【持続的な観光地域づくり・ブランディング推進事業】

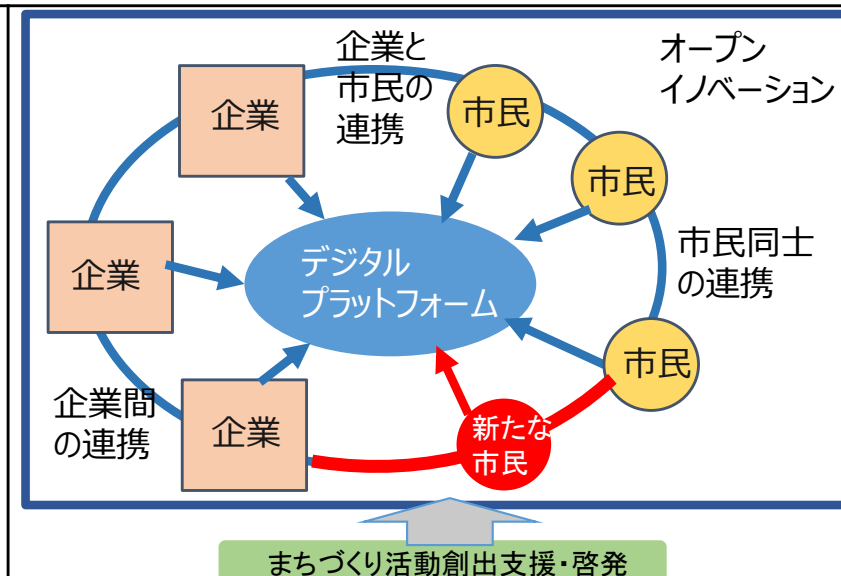
推進当初

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	208,760千円 (68,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・静岡市は全国と比較し、1人当たりの旅行単価が低い状況にある。 ・市内観光消費額の最大化に向けて「1人あたり旅行単価の向上」と「インバウンドを含む客数の増加」を図るため、静岡市の特性を生かした「体験コンテンツの充実」を目指す。 ・体験コンテンツの充実に向けては市内観光事業者への商品造成支援とブランディングによる販売強化を実施する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	■ 体験コンテンツの造成支援 (企画・開発、ブラッシュアップ、事業者間連携) ○キックオフセミナー 5,800千円 ・現状認識、将来像など共有し、事業への幅広い参画を促す。 ○商品造成ワークショップ 12,600千円 ・専門家を招聘し、体験コンテンツの造成に必要な知識の習得や自己分析等を行う。 ○個別事業者への伴走支援 39,200千円 ・重点支援事業者が体験コンテンツを造成するにあたっては、伴走支援体制を整え、個別の状況に応じた的確な助言や活動支援を行う。 ■ 体験コンテンツ販売強化事業 (ブランディング) ○プロモーション体制の整備 7,800千円 ・造成したコンテンツを活かした次年度以降の本格的なプロモーションに向けて、ブランドコンセプトやモデルコースの企画・開発、WEB状の情報導線の再設計などの体制を整える。 ○B to Bセールスの実施 3,480千円 ・販路開拓や商品ブラッシュアップのため、エージェントファムトリップや商談会を実施する。 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+45,000百万円) ②外国人延べ宿泊者数 (+50,000人) ③1人あたり観光消費額 (+9,000円) ④“感動体験”の体験者数 (+23,000人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.shizuoka.lg.jp

事業概要【デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業】

推進当初

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,670千円 (13,240千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・市内企業のまちづくりへの参画を導き、企業の価値向上とまちの魅力増進を実現する。 ・労働者や学生を含む市民が、まちづくりに取り組みながら主体的に暮らすことでウェルビーイングを実現する。 ・市民や企業の多様な活動がまちづくりデジタルプラットフォーム上で可視化され、ネットワークが形成される。 これらの動きにより転出リスクを下げ、新たに人を呼び込み、地域の人口減少に歯止めをかける。		
事業概要・ 主な経費	◎企業版リノベーションスクールの実施を核としたオープンイノベーションへの取組及び情報発信 (委託料8,030千円、需用費200千円、使用料99千円、補助金1,500千円) ◎まちづくりデジタルプラットフォーム導入のほか、まちづくりに参画する市民の裾野を広げ、ネットワーキングする (委託料3,411千円) ※経費内訳はR6年度事業費		
KPI	①地域の人口 (▲3,900人) ②市内企業による新たな事業プロジェクト創出数 (+25件) ③市民が企画するまちづくりプロジェクト創出数 (+30件) ④まちづくりデジタルプラットフォームの登録者数 (+600人) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/machi/index.htm

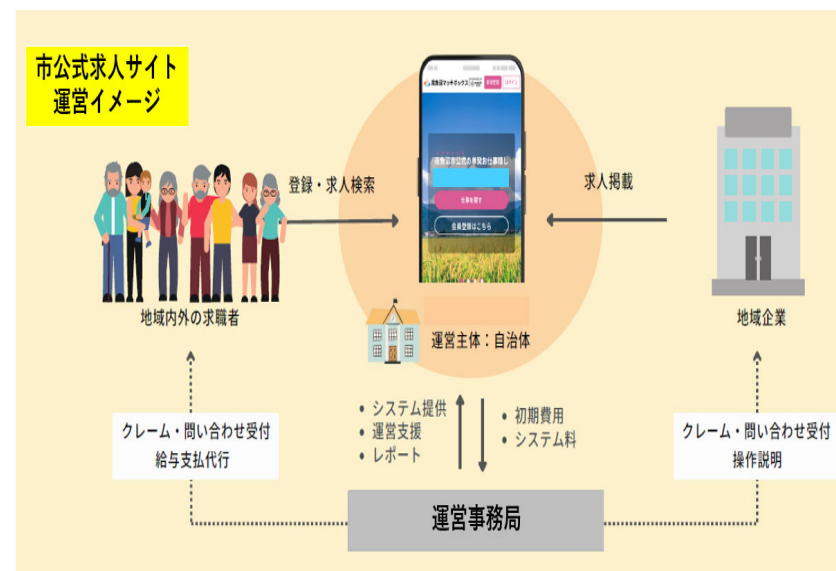


申請者	静岡県熱海市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	70,323千円（25,221千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・旧学校施設をハブ機能の拠点として活用し、まちづくり会社を中心に地域住民と域外の人的資源との連携を図る。 ・地域資源を活用した交流促進事業を展開し、移住定住の促進と交流人口・関係人口の増加を図る。 ・住民の豊かな暮らしを実現するため、地域の魅力を育み、人が集う地域を構築し、地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【オフィス事業】（委託料）7,740千円 旧学校施設の交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースを活用したビジネスマッチングと域内外の交流の場の提供 【地域資源を活用した交流促進事業】（委託料）9,781千円 ①地域資源を活用した体験イベント等の実施による域内外の交流事業の実施 ②自然を活用した体験プログラムを実施するインタープリターの養成 【エリアリノベーションまちづくり事業】（委託料）7,700千円 ①各地区で課題の整理を行い、地域の在り方を創造していくエリアリノベシまちづくりを実践するエリアリノベーション会議を開催。 ②エリアリノベーションビジョンの策定  【伊豆山地区】 土石流災害を受け、弱体化した地域力を再構築するため、地域の資源と人材を活用した産業振興を図るとともに、持続的な地域社会の構築を図る。 【中心市街地】 リノベーションまちづくりの推進エリアを拡張し、クリエイティブ人材の活躍の場を広げていく。 【南熱海地区】 産業、生活全般にわたり衰退の一途をたどる地区において、地区の市民活動等の拠点であった旧学校施設を活用し、他エリアからの人的資源等と連携し、地場産業の振興や雇用の創出、移住促進、空き物件の活用に取り組み、地区の持続的な活性化を図る。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+14人） ②エリアリノベーション事業から生まれた起業・創業者数（+7人） ③テナントオフィス稼働率（+75%） ④網代地区の空き物件が利活用された件数（+6件）	関連URL	調整中

事業概要【眠れる労働力を発掘！富士宮プロジェクト】

推進当初

申請者	静岡県富士宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	36,880千円 (9,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	人口減少が避けられない中、眠れる労働力（育児休暇者、介護離職者、高齢者、外国人、引きこもり、生活困窮者など）が地域社会とつながり、その能力を発揮できる社会を構築する。多様な人材・働き手と企業・団体等の受け入れ側のミスマッチを解消し、働き手は「自由な時間にいつまでも働ける」状態、企業や団体等は、人手不足や担い手不足を補うことで、「誰一人取り残さない」市民全員が地域社会で活躍できている状態を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中小企業人材確保事業 生産年齢人口の総数維持のため、デジタルを活用した各種サイトを立ち上げる。今まで情報が届かなかった若者などに情報発信。担い手を確保する。 ・事業承継支援ツール構築（委託料）2,600千円 サイト構築費・記事作成費等、事業者掘り起こしアンケート実施費 ・就業支援サイト構築（委託料）1,000千円 サイト構築、求人企業取材、ジョブマッチング広告にかかる経費 ・オンラインインターンシップ事業（委託料）5,500千円 複数社合同開催（最大25社）等各種オンラインインターンシップ経費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+9,260円） ②福祉コーディネータが企業・団体とマッチングさせた人数（+72人） ③市公式求人サイトにおける就業マッチング件数（+2,811件） ④SDGsプラットフォームへ取組を掲載した企業・団体数（+25者）	関連URL	http://www.city.fujinomiya.lg.jp/sp/municipal_government/visuf8000001rq07.html http://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iosmo0000001dop.html



事業概要【多様な人財確保支援事業】

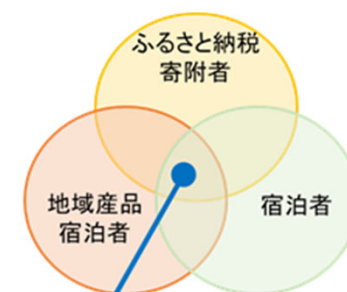
推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,545千円 (6,045千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・人財確保に悩む企業に現状と課題を認識し、人財確保のノウハウや方法の学びを通して企業の考え方や意識の改革を図る。 ・若者に限らず、外国人、高齢者、障害者、離職中の女性など多様な人財確保と多様な働き方のニーズに対応するため、労働条件や福利厚生制度の見直しといったソフト面に係る支援を実施する。 ・子ども達を対象に、働くことの楽しさや成功体験を通じ、地域愛を育み、将来的に地元で就職・定住・活躍してもらう人財育成と確保を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●市内企業向けの雇用促進セミナーの開催（646千円） ・民間事業者への委託料、消耗品費、印刷製本費 ●保護者向け市内企業訪問バスツアー（1,199千円） ・民間事業者への委託料 ●多様な人財雇用促進事業補助金制度（4,200千円） ・ソフト事業に係る経費の一部を補助金として支援 ・働き方改革推進モデルとなるような「えるぼし」等の認定を受けた企業の取組みの経費の一部を支援 労働環境の整備（ソフト面）   企業向けセミナー、子ども向け職業体験会（キッズニア焼津版、VR）の実施    働きやすい環境整備 + ワーク・ライフ・バランス推進等 = 企業イメージ向上 = 多様な人財確保 = 企業存続・発展		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+30万円） ②市内企業において新たに雇用した人数（+45人） ③雇用促進セミナー参加者（+60人） ④国の法令に基づき、働きやすい職場と新たに認定された市内企業数（+3社）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/g02-001/chihousousei/chihousouseisuishinkaigi.html

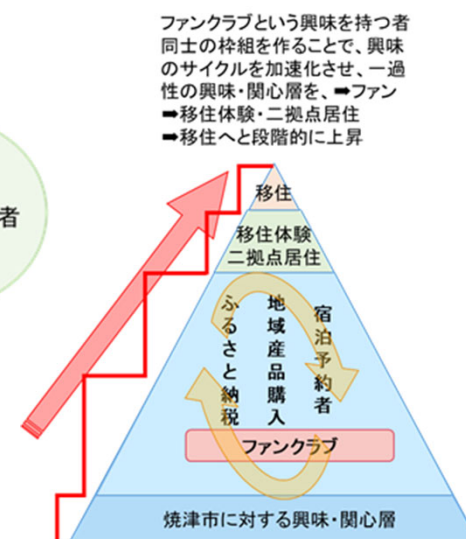
事業概要【焼津型エコシステム構築による関係人口の増大事業】

推進当初

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	101,603千円 (10,595千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	焼津に関わる関係人口が拡大し、その関りが深化していくことで、地域経済の活性化や移住定住者の増加、さらには焼津がより魅力的なまちへと生まれ変わることにつながり、それがさらなる関係人口の増加につながるといった、これまでにない新しいシステム「焼津型エコシステム（地域経済循環システム）」の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業概要】 ・「①データに基づくマーケティング」、「②地場製品の開発」、「③ファンクラブの構築」、「④移住イベント」といった取組を有機的に組み合わせ、焼津への関りを段階的に成長させることで、移住定住等に繋げていく。 ・また、その過程で、地域製品の販売等による地域経済の活性化を図るほか、ファンや移住者を積極的に巻き込むことで、人が人を呼び、人がまちを魅力的にし、それがまた新しい人を呼ぶ好循環をまきおこす。 【事業詳細】（R6事業費ベース） ①データに基づくマーケティング（R6は調査のみ） ○データ分析（1,613千円） ・ターゲット設定に向けたデータ分析、データ分析人材の育成 ○地域ブランドの構築（8,982千円） ・認知度やイメージ調査等の現状分析等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+810人） ②焼津ファンクラブ会員数（ファンクラブ登録人数）（+6,000人） ③年間関係人口数（+492,000人） ④年間関係人口消費金額（+7,837,000千円）	関連URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html



各分野における単体サービス利用者よりも、重複サービス利用者の方が、焼津市に対する興味・関心が高い。
 ⇒データ分析に基づくことで、興味・関心層（＝ファン潜在層）を把握し、アプローチを行っていく。



事業概要【全市生涯学習学びのキャンパス化事業】

推進当初

申請者	静岡県掛川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,900千円 (4,518千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・掛川学びの場所100景を選定し、地域の新たな魅力づくり、磨き上げを図る。 ・地域で活躍できる人材の育成を図る。 ・学びの場の活用、地域課題の解決を目的に生涯学習の視点で考える場「(仮)未来探求学舎」の創設、開催。 ・スモールモビリティを活用した学びと観光のネットワーク化及び学び塾の開催。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学びの場の取材・選定・デジタルアーカイブ化 ・学びの場の取材・選定・デジタルアーカイブ化委託料 3,800千円 ○学びの場を巡る学び塾の開催 ・講師謝礼 70千円 ・印刷費 100千円 ・文具消耗器材費 25千円 ・郵便料 8千円 ○(仮称)未来探求学舎の創設 ・講師謝礼 100千円 ・委員報酬 141千円 ・講師交通費 15千円 ・委員交通費 26千円 ・文具消耗器材費 25千円 ・印刷費 100千円 ・郵便料 8千円 ・会場費 100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域の人口（▲240人） ②掛川学びの場の設定数（+120箇所） ③学び塾に参加した人数の推移（+100人） ④電動キックボード利用者の推移（+2,000人）		
	全市生涯学習学びのキャンパス化の実現と展望 掛川学びの場100景の選定 掛川学びの場100景のアーカイブ化 スモールモビリティの導入 掛川学びの場を巡る「学び塾」の開催 「(仮)未来探求学舎」の創設		
	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9312.html	

推進当初

49

事業概要【大河ドラマを契機とした観光振興及び郷土愛醸成促進事業】

推進当初

申請者	静岡県牧之原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,200千円 (18,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	従来からの誘客資源である食やマリレジャーに加え、「歴史・文化資源」を新たな地域資源の柱として当市への観光誘客の多様性を図り、交流客数、消費単価の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○大河ドラマを契機としてデジタル媒体及び紙媒体を利用した広報により、牧之原市が田沼意次侯ゆかりの地であることをPRする事業 ・バス及びトラックへのラッピング：3,400千円 ○来訪者の市内への周遊を促すとともに、データ収集・分析を行って新たな商品やサービスの創出に繋げるため、専用アプリの開発・運用を行う ・アプリ開発及び運用費：3,500千円 ○田沼意次侯を主題にした演劇を行うとともに、そのキャストに市民が参加することで、郷土愛の醸成と意識向上を図る ・演劇公演費（委託費）：2,600千円 ○歴史・文化資源を活用した商品やサービスの開発を支援するもの。 ・商品開発支援費（助成金）：1,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,000,000千円） ②専用ホームページの閲覧数（+25,000人） ③市史料館の入館者数（+35,000人） ④歴史文化に関連した商品開発数（+20件）	関連URL	調整中



事業概要【産官学連携地域活性化事業】

推進当初

申請者	静岡県清水町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	5,841千円 (1,841千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・若年層に対し、創業・マーケティングの基礎知識習得や起業家・町内企業との交流の機会を提供する。 ・若年層が地元で就業・創業・起業する機運を醸成し、若年層の東京圏への流出を抑制する。 ・若年層の地域への愛着形成及び地元企業・店舗の活性化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○産官学連携事業「沼商屋」 ・地元企業との商品開発やマーケティング・広報戦略等の特別授業のコーディネートを委託する。（委託料）1,000千円 ○学生観光ボランティア育成等事業 ・観光ボランティアの業務を体験学習する機会を提供することで、地域のことを学んでもらうとともに、観光事業者と連携して観光商品や土産物（特産品）等の商品開発に取り組む。（委託料）500千円 ○町の課題解決事業 ・町内中学生からの「町への提言」や沼津商業1年生の総合的な学習の時間で実施している地域課題解決の授業から出てきた意見や提案を踏まえ、若年層が感じる町の課題を解決するための事業を実施する。（委託料）341千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+30人） ②町出身者の町内及び近隣市町の企業等への就職意向率（+8.9%） ③連携事業者数（+9者）	関連URL	調整中

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【静岡県農林技術研究所茶業研究センター『新研究棟・基盤技術研究棟』施設整備計画】

拠点当初

申請者	静岡県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,177,596千円 (1,673,556千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分） ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	本県茶業の再生を図るChaOI（チャオイ）プロジェクトの拠点として、茶業研究センターを再整備し、国内随一の茶業研究プラットフォームを構築する。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	本県茶業の収益性を高め、茶産地の活性化につなげることを目標として、茶業の技術革新を進める拠点となる静岡県農林技術研究所茶業研究センターの施設及び設備を再整備する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 920,202千円、 工事監理費 20,293千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 231,374千円、 機械設備工事費 227,964千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 機器整備費 183,154千円、外構工事費 67,045千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 機器整備費 22,121千円、研究映像製作委託費 1,403千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①茶産出額（+60億円） ②茶輸出額（+44億円） ③茶有機栽培面積（+349ha） ④ChaOIフォーラム会員数（+150会員）	関連URL	調整中

新研究棟の整備イメージ



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【中山間地の廃校を活用した観光拠点整備事業

(南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアム整備事業)

拠点補正

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	静岡県静岡市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	398,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本市の中心市街地から井川地区に向かう県道・南アルプス公園線のトンネル建設工事が進む中、同地区の廃校を活用し、展示・レストラン等の機能を持った「南アルプスユネスコエコパーク・ミュージアム」を整備する。民間事業者、地域住民、隣接する川根本町等と連携して観光資源を最大限活用し、誘客を促進するとともに観光消費の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	展示室を整備し、南アルプスの自然環境について学べるコンテンツをデジタルサイネージ等で提供するほか、井川地区で使用されてきた民具を展示することで、地域独自の文化資源の保全・活用につなげる。さらには、民具を3,000点以上集め、国の有形民俗文化財の指定を目指す。また、レストランでは、在来作物を活用した食事を提供し、観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげるとともに、地域経済の活性化を図る。併せて、施設内で上映する南アルプスの魅力を伝える映像など、展示の一部をメタバース空間でも体験できるよう整備する。 ・展示室・レストラン等整備工事：367,000千円 ・駐車場設備整備工事：31,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+530,000千円） ②来訪者の満足度（+2.8%） ③収集した民具の数（+2,100点） ④メタバースの利用者数（+300人）	関連URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html

申請者	静岡県牧之原市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	602,580千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	富士山静岡空港が立地し、周辺地域と当市の企業集積地の結節点となる地区に、産直、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅」を整備し、地元農産物を使いブランド化による付加価値の向上、商品化による販売方法の多様化を支援するとともに、農業者の販路拡大を図る。		
整備内容・利活用方策	茶のブランド化・商品化による付加価値の向上と販売促進及び果物類のブランド化・商品化による付加価値の向上と販売促進を図る。 【本施設の概要】 ・ふれあい産直棟、飲食交流棟整備費：581,035千円 ・ふれあい産直POSシステム整備費：21,246千円 ・ふれあい産直棟専用デジタルサイネージ整備費：299千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+114,420千円） ②施設の総売上額（+305,745千円） ③生産者との契約数（+120件） ④地域の特産物を使用した加工品の商品開発数（+90個）	関連URL	なし

申請者	静岡県牧之原市	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	25,000千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	史料館の既存施設の模様替えを行い、展示物や地域の歴史文化資源をデジタル技術を活用して情報発信するとともに、史料館を市内周遊の拠点として、市内周遊アプリの運用や問い合わせへのワンストップ対応を行う拠点として活用することで、交流客数、消費単価の増加を図り観光誘客の好循環の創出を目指す。		
整備内容・利活用方策	史料館において、市内全域の歴史資源の紹介を行うとともに、マリニレジャーや食などの観光資源の情報発信や、関連イベントの継続的な実施や特産品販売などを合わせて行う拠点機能を整備する。 デジタルサイネージの設置により、地域の歴史文化資源や観光・グルメの情報などの多言語表記による情報発信とあわせて、タッチパネルによるアンケートを実施し、利用者と史料館運営側の双方の情報交換によって、史料館入館者のニーズや動向を把握し、市の観光誘客や周遊促進に反映する。また、市内周遊デジタルアプリとデジタルサイネージを連携させることで、より多くの観光客に周遊を促す効果が得られるとともに、アプリの利用者数の増加等につなげる。 ○施設改修工事等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【2階ホール設備改修】：14,000千円 【2階物産販売ブース整備】800千円 【階段昇降機設置工事】 3,200千円 【1階、2階のトイレ改修】7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値	①地域における観光消費額（+3,250,000千円） ②市史料館の事業収入（+2,962千円） ③市史料館の入館者数（+37,000人） ④市史料館と連動したイベント数（+11件）	関連URL	調整中

事業概要【多世代交流拠点「谷戸山のいえ」整備事業】

拠点補正

申請者	静岡県小山町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	94,967千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	里山の麓にあるホタルが飛び交う古民家を「谷戸山のいえ」としてリノベーションし、こどもたちの里山体験活動や環境学習、里山再生事業など地域住民が運営・参画するプロジェクトのフィールドとすることで、多世代交流が生まれ、人口減少や高齢化により衰退した地域コミュニティの再生を図り、地域の魅力・活力を向上させる。		
整備内容・利活用方策	地域の農家や有識者を中心に設立するNPO法人が、地域住民を巻き込み里山体験活動などを実施できる拠点を整備し、耕作放棄地の活用や荒廃山竹林整備による活動収益を得ることで持続可能な活動とする。 Wifi環境を整え、SNSやHPを作成して効果的な情報発信を行う。 ・谷戸山のいえ整備費：87,114千円 ・外構工事費：7,254千円 ・Wi-Fi機器設置費：599千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の世帯数（+50世帯） ②多世代交流拠点「谷戸山のいえ」の利用者数（+7,000人） ③谷戸山のいえを活用した環境学習参加者数（+400人） ④受託・販売売上実績（+2,500千円）	関連URL	調整中

